2026 年 9 月 7 日 第 1 版

研究協力のお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学　整形外科学教室

記

研究の名称	上肢症状を呈さない頚髄症：自験例を含む系統的文献レビュー
対象	2020 年 1 月 1 日以降に大阪医科薬科大学病院で、頚椎症性脊髄症、頚椎椎間板ヘルニア又は後縦靭帯骨化症に伴う頚髄症と診断され、下肢痛、間欠性跛行、膝痛、歩行障害などの下肢症状を主体として診療を受けた 20 歳以上の患者さんが対象です。 また、既に学術論文として公表されている文献症例の情報を同様に収集し、本院の患者様のデーターと併せて全体で解析する予定です。
研究期間	研究実施許可日　～　2031 年 3 月 31 日
試料・情報の利用目的及び利用方法	利用目的：頚椎症性脊髄症などの頚髄症は、通常、手の使いにくさや上肢のしびれで気づかれることが多い疾患です。しかし、まれに上肢症状が目立たず、下肢の痛み、歩きにくさ、膀胱直腸障害などを主な症状として発症することがあります。このような場合、腰椎疾患などと区別が難しく、診断が遅れることがあります。本研究では、そのような下肢症状を主体とする頚髄症の特徴を調べ、今後の診断に役立てることを目的としています。 利用方法：患者さんの診療情報及び画像情報を抽出し解析を行います。抽出した情報は、個人を特定できないように加工したうえで取り扱います。研

	究結果は学会や学術誌で発表される予定です。 利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日
利用し、又は提供する試料・情報の項目	試料：利用しません。 情報：診療記録、レントゲン、CT、MRI 等。
利益相反について	本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。 当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名

【研究責任（代表）者】

大阪医科薬科大学　整形外科学　　助教　　大保　拓也

参加拒否の申し出について

ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ窓口

【研究機関】

〒569-8686　大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学　整形外科学

担当者　　大保　拓也

連絡先　　072-683-1221（代）　内線 53458

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学　学長　殿
大阪医科薬科大学病院　病院長　殿

大阪医科薬科大学
研究責任者　大保　拓也　殿

研究の名称	上肢症状を呈さない頚髄症：自験例を含む系統的文献レビュー

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年　　月　　日　　対象者　　住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄：　　）

住所

氏名（自署）